

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

## 事業名 **新** 畜舎省力化施設整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 畜産基盤係 電話番号：058-272-1111 (内 2878)

E-mail: [c11437@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11437@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 37,500 千円 (前年度予算額：0 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	37,500	0	0	0	0	0	0	0	37,500
決定額	28,125	0	0	0	0	0	0	0	28,125

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

近年、本県畜産業の経営規模は拡大傾向にあることから、畜舎等の施設整備に対して支援を行ってきている。一方で、規模拡大には労働力の確保が必須となるが、担い手不足は深刻であり、さらに新型コロナウイルス感染症が拡大している中においては、労働者間の接触を減らすことが重要であることから、少人数で効率よく経営する体制づくりは急務である。省力化技術を活用することにより、少人数でも大規模な経営運営が可能となることから、省力化技術と一体化した施設整備に対する支援を行う。

### (2) 事業内容

作業の省力化あるいは効率化を図るための設備と一体的な施設整備及び機器・機械等の導入に要する経費の一部について助成する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

補助対象事業費の1/3以内

省力化あるいは効率化、体力的・精神的負担の軽減、及び畜産物の品質向上は県下畜産業を維持・発展するために必要であり、県負担は妥当。

### (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	37,500	省力化・効率化を図るための施設整備・機械導入等 例： ・飼養管理の省力化（畜舎と自動給餌器・餌寄せロボット等の一体整備による給餌作業の削減，畜舎と搾乳ロボットの一体整備による搾乳作業時間の短縮及び体力的負担の軽減） ・繁殖管理の省力化・効率化（畜舎整備に伴い増加した頭数への発情発見・分娩監視装置等の装着または哺乳ロボットの設置による労働力の軽減と子牛生産性の向上） ・生態管理の省力化（畜舎整備に伴い増加した頭数への行動監視装置等の装着や体重自動計測機の設置による管理作業の軽減） ・生産物データの自動一元化（畜舎と搾乳データ管理システムの一体整備による生乳分析を活用した畜産物の品質向上） ・飼養環境管理の効率化（畜舎と環境モニタリングシステムの一体整備による環境把握の可視化を活かした暑熱・換気対策及び畜産物の品質向上） ・畜舎監視の効率化（畜舎と監視カメラ類の一体整備による家畜盗難・防犯対策） 等
合計	37,500	

#### 決定額の考え方

- ・補助率を強い畜産構造改革支援事業費補助金と同様として所要額を計上します。
- ・財源は県有施設整備・新型コロナウイルス感染症対策基金を充当します。

#### 4 参考事項

##### （1）各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2019-2023年度） II-3-(3)-②
- ・「ぎふ農業・農村基本計画」（2021-2025年度（作成中））第6章(13)酪農
- ・岐阜県スマート農業推進計画（2019-2023年度）
- ・岐阜県家畜改良増殖計画（2020中間見直し版（案）） I 乳用牛，II 肉用牛

##### （2）後年度の財政負担

なし

##### （3）事業主体及びその妥当性

農業協同組合連合会、農業協同組合、公社、農業者が組織する団体 等

## 県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	畜舎省力化施設整備事業費補助金
補助事業者（団体）	農業協同組合連合会、（一社）岐阜県農畜産公社、農業協同組合、農事組合法人、農業者等の組織する団体等（理由） 小規模畜産農家を事業の対象とするため。
補助事業の概要	（目的）作業の省力化を推進し、少人数での大規模経営運営を支援する。 （内容）スマート農業技術を導入して、作業の省力化あるいは効率化を図るための一体的な施設整備及び機器・機械等に要する経費の一部について助成する
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例： ） （内容） 1/3 以内 （理由）従来の畜産ハード事業よりもインセンティブをつけることで、省力化への事業転換及びそのための積極的な ICT 機器等の導入を図るため。
補助効果	畜産の生産現場にスマート農業施設・機器等が普及し、労働力不足の解消が進み、畜産業の魅力が向上する。
終期の設定	終期 令和 3 年度 （理由）新型コロナ対策の国交付金を活用するものであるため

### （事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>作業の省力化あるいは効率化による少人数での経営規模の維持拡大、家畜の生態観察時間の確保による畜産物の品質向上</p>
---

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1 年度末)	目標 (R3 年度末)	目標 (終期)
① スマート機器の導入農家戸数	30	33	33

	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度 (要求)
補助金交付実績	0 千円	0 千円	0 千円	(予算額) 0 千円	(要求額) 37,500 千円

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
----------------------

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い	
(評価) ○	畜産農家の担い手不足が続く中、省力化により少人数で作業可能な体系に転換していくことは、1戸あたり飼養頭数の維持拡大につながり、本県畜産業の下支えとなるため、事業の必要性が高い。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある	
(評価)	

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止 (理由)
---------------------